

市場価格

ドル建て ドル/TOZ

Platinum	Price	Date
Open	897.22	2022/8/1
High	945.98	2022/8/5
Low	890.18	2022/8/3
Close	934.50	2022/8/5

円建て 円/グラム

Platinum	Price	Date
Open	3844.00	2022/8/1
High	4081.00	2022/8/5
Low	3805.00	2022/8/1
Close	4055.00	2022/8/5

ドル建て ドル/TOZ

Palladium	Price	Date
Open	2131.00	2022/8/1
High	2224.00	2022/8/2
Low	1994.00	2022/8/4
Close	2128.50	2022/8/5

円建て 円/グラム

Palladium	Price	Date
Open	9117.00	2022/8/1
High	9409.00	2022/8/1
Low	8607.00	2022/8/4
Close	9236.00	2022/8/5



ニュースエクスプレス

ジョンソン・マッセイ、水素など脱炭素化技術で中国と合意

ジョンソン・マッセイは、中国国有石油企業大手シノベック（中国石化工業集団）の投資部門と、中国の脱炭素化技術について協力する可能性があることを明らかにした。

ジョンソン・マッセイはロンドン証券取引所に上場している時価総額上位100社で構成される FTSE 100に入る化学会社で、燃料電池の大量生産工場建設を最近認可されたばかり。シノベック・キャピタルと合意し、水素技術、燃料電池、脱炭素化技術に関する話し合いを開始した。

シノベックは石油化学では中国最大、天然ガスは中国第二位、石油精製では世界最大、化学製品生産は世界第二位の企業。「シノベックは戦略的な長期開発計画に基づき中国ナンバーワンの水素会社、世界有数のクリーンエネルギー企業となる決意をしている。」と 同社副会長 Zhou Meiyunが発表した。

<https://www.proactiveinvestors.co.uk/companies/news/989094/johnson-matthey-agrees-deal-to-explore-hydrogen-and-other-decarbonisation-options-for-china-989094.html>

世界経済の鈍化で、アナリストら、プラチナ・パラジウム価格予想を下げる

ロイター企業調査によると、アナリストやトレーダーらは、世界の経済の鈍化による需要減退の懸念で、プラチナとパラジウムの価格に対する予測を大幅に下げている。

どちらのメタルも主なユーザーは自動車メーカーで、排気ガス軽減のために使われる。プラチナはそのほかの産業、宝飾、投資にも使われる。

プラチナ価格は3月に9ヶ月来の最高価格1179.81 ドル/オンスをつけた後、900ドルまで下落、パラジウムは3月に3440.76 ドル/オンスをつけた後、2100ドルに下がっている。

アナリストやトレーダーら、27人の価格予想に関する調査結果の中央値は、プラチナの2022年第3四半期は平均900ドル/オンス、第4四半期は914ドル、2023年は1013ドルとなった。

3ヶ月前の同様の調査による2023年の予測は1170ドルだった。

パラジウムに関しては、第3四半期の平均は1950ドル/オンス、第4四半期は1975ドル、2023年は2060ドルで、これも5月に行われた調査の2023年の予測価格2250ドルを下回った。

2022年初めのロシアによるウクライナ侵攻で、主な生産国であるロシアに対する制裁の影響で価格が高騰した。

その後ロシアの供給は停止していないが、インフレ率が上がり、金利も早いペースで上昇、さらに中国のコロナ対策のロックダウンで世界経済は不況への道を進んでいる。

「自動車セクターの低速でプラチナの自動車触媒需要は伸びず、宝飾品需要も抑えられている。」と ANZ 銀行のアナリストが述べている。

パラジウムに関しては、「下落傾向が続く価格が上向きには、自動車セクターの回復が必須だ。」

需給予測を出したアナリスト4人は、全員、プラチナは、今年は供給余剰、2023年は余剰が減り、うち1人は2023年は供給不足になると予測している。

パラジウムに関しては、今年は4人のうち3人がわずかながら供給余剰、2023年は2人が少しの供給余剰、1人が少しの供給不足、残り1人がマーケットは均衡を保つとしている。

<https://www.mining.com/web/analysts-slash-platinum-and-palladium-forecasts-amid-global-slowdown/>

Translated by JBMA Osawa KAZUKO



WPIC直近の活動

古くから肥料製造に使われてきたプラチナ、今後は肥料製造業の脱炭素化にも。詳しくはプラチナ豆知識「可能性を秘めた土壌」（2022年7月27日）をご覧ください。 <https://platinuminvestment.com/about/60-seconds-in-platinum/2022/07/27>

長引くサプライチェーンの問題や経済成長の鈍化で消費購買力が低下し、その影響で自動車のプラチナ需要が打撃を受けるのではという投資家の懸念に対し、今回のレポートではパラジウムの代替となるプラチナが増え、車一台当たりのプラチナ触媒の量が増えることで、需要の減少は補われる可能性があることを明らかにしたいと思う。詳しくは「2022年8月 プラチナ投資のエッセンス 代替の増加と一台当たりのプラチナ触媒の増量が、自動車減産によるプラチナ需要減少を十分にカバー」をご覧ください。

https://platinuminvestment.com/files/583994/WPIC_Platinum_Essentials_July_2022.pdf



(@wpicjapan)

免責事項：本資料は情報提供に過ぎず、WPICの投資提案を意図するものではなく、また、そのように解釈されるべきでもありません。